



# Minato みなとシルバーニュース Silver News

2023  
No.  
102

令和5年5月16日発行/会員数1,777人(令和5年4月1日現在)



# スマスマ(Smile to Smile)で わくわくドキドキ私の挑戦!

## 認知機能判定アプリケーションの開発研究モニター業務



ライフスタイルの変化で、人と会う機会が増えてきました。同じ年代が集まれば、話題は必ず「あるある・もの忘れ爆笑大会」になります。自虐ネタと同病相憐れむで心配したり、ほっとしたり。

“もの忘れ”と言っても、認知症、軽度認知障害(MCI)、そして加齢による衰えなど、さまざまなケースがあります。2年後の2025年には、私たち高齢者の5人に1人が認知症になると推定されているそうです。

発注者の日本テクトシステムズ株式会社は、AI(機械学習)によって音声と年齢で認知機能の変化を判別するアプリケーションの開発をしています。4度目の発注となる今回は、健常者と軽度認知障害(MCI)を見分けるアプリの開発を企画し、その臨床研究にセンター会員192名の募集を行いました。

約40分のモニター業務では、先ず臨床研究に関する17項目の説明がありました。すべてに同意し署名をしたら、担当者とマンツーマンの質疑応答が始まります。ちょっと緊張したせいか、言い間違えや、答えがすぐに出ない場面もありましたが、なんとかクリア。

次にヘッドフォンを装着して、流れてくる質問に答えていくのですが、これがなかなか手強い。文章と数字が交じり合ったナレーションを記憶し、即座に繰り返すだけなのに、とにかく数字が覚えられません。後半は、さらに苦手な数字がこれでもかと並び・・・“頭の中の消しゴム”が次々と前の数字を消していくような感覚を経験しました。

幸か不幸か、個人の判定結果については教えてもらえませんが、貴重な体験でした。翌日も反復して聴いたフレーズが断片的に浮かんできました。リベンジしたいと思ったであろう191名の会員の皆さん、次回のモニターに参加しても、再挑戦者には別の質問になるとのこと。そりゃあそうですね。



- スマスマで募集するアンケートやモニターの就業が増えています。
- スマホ保有の未登録者はセンターにお問い合わせください。
- 月初に開催される“ゆうあいカフェ”では登録サポートもあります。



## Pal(パル)がイメージチェンジしました。

皆さんに名前を付けてもらったPal(パル)。ネクタイをはずしメダル型のネームプレートを着けたら若々しくなりました。ホームページや「事務局だより」などから徐々にデザインを変更します。親しまれるキャラクターを目指しますので、どうぞよろしく!

\*パルとは仲間・友だちの意味です。

# 就業 機会 創出員

## !!! 就業機会創出員 !!!

この文字通り、港区シルバー人材センターの会員が新しい仕事に就けるよう、日々ガンバっています



木谷 年雄  
[6939]

シルバー人材センターに入会したのが2021年ですから、まだまだニューフェイスのひとりだと思えます。就業機会創出員になったのが昨年4月なので、これまた新人に近いようなものです。

新しい仕事をさがすため、毎日電話をかけたたり、会社や団体を訪問しています。事務局の営業会議に出席したり、「事業対策委員会」に時々顔を出したりと、組織内でも横断的に動いています。

業務上、苦勞するのはマッチングです。新しい仕事を依頼されてもそれを希望する人がいなかったりするとタイヘンです。あとは、得意先に失礼なことがないかどうかにも気を遣います。

休みの日は昔からの趣味である散歩やジョギングを楽しんでいます。しばらく前から「東海道を歩く」ことをやっていますが、この号が出る頃には東海道パーフェクト制覇を果たしていると思います。からだ動くうちはどんどん歩き、日本全国を隅々まで回りたいです。



宮崎 幹雄  
[7099]

2019年の3月に入会して、すぐに「みなとパーク駐輪場」に就業しました。昨年いっばいまでそこで仕事をして、この就業機会創出員になったのが今年の1月でした。

現役時代はアパレル業界で接客営業をやっていたので人と会ったり話したりすることには慣れていましたが、今回のいわゆる新規開発営業というのはかなり違います。日頃から事務局に電話やメールで入ってくる新規のお客様をフォローして、求人窓口になるわけですが、難しい問題もいっぱいあります。人材を求める側としてはすぐにこんな人が欲しい——しかし、こちら側としてはなかなか条件に合う人が見つからない——その辺りがジレンマになってきます。

私の趣味といえば旅行やカラオケです。これから行きたいのはコロナでしばらくご無沙汰している北海道でしょうか。カラオケは家族全員で、カラオケボックスに行くなどして楽しんでいます。ちなみに私がよく歌っているのは、同年代の松山千春の「途上」とか「電話」などです。

## 事業継続計画 (BCP) 発動対応ハンドブックを お持ちですか?

BCPとは、Business Continuity Plan (事業継続計画) のこと。災害などの緊急事態が発生したときに損害を最小限に抑え、事業の継続・復旧を図るための計画です。

災害時に会員の迅速な安否確認へのご協力をお願いします。具体的な行動手順はハンドブックに記載しています。いつも会員証といっしょに携帯してください。紛失された場合は、センターへご連絡、または窓口まで。





宮田 照子  
[4116]

## 新世代へバトンタッチ!

設立以来、10 数年務めてきた「みなと歴史ガイド倶楽部」のリーダーとしてはお役御免となりました。個性的で活発な会員たちのまとめ役は、やりがいのあるお仕事でした。さすがに 87 歳となり体力も限界なので退任し、これからは気楽に構えて、次世代会員の活動を静かに見守ります。



赤坂迎賓館

「生まれ育った」(本村町 = 現南麻布生まれ) 港区の歴史を知りたくて麻布達人倶楽部の第一期生(現在は退会)となり、観光ボランティアもしていました。その後、みなと歴史ガイド倶楽部の創設とともにリーダーとなりました。

当倶楽部のガイドツアーとカルチャー講座は会員による自主企画・運営です。人気のあった大使館ツアーの調整なども苦勞とは感じませんでした。近年は区外も対象にしています。これにより参加希望者はさらに多くなり、今後も多様な区内外のガイドツアー&講座の企画が求められています。好きなことを楽しく実施できますのでやる気のある皆様、お仲間になりませんか。



## みなと歴史ガイド

青山墓地に眠る著名人を紹介するツ  
紆余曲折を経て、港区の歴史散策をか  
5年後には、広尾にある「みなとふれ  
従来の「街歩き」と二本立  
学びと語り<sup>おはこ</sup>が十八番であるメ  
区外の歴史スポットへも足  
チャレンジ精神  
魅力あるガイドと講



福永 寿子  
[5111]

## 最近、カルチャー講座が好評です!

港区シルバー人材センターに入会した当初、やりたいと思えるような仕事がなかなかなく……。そんな時、センターの就業先のひとつから、協働事業として青山霊園の著名人を紹介するツアーガイドをやってみないか、というお誘いがあり参加を決めました。今の「みなと歴史ガイド倶楽部」のスタートです。

現在は、ツアーガイドのチラシを年に5回発行し、月々3~4種類のツアーを企画・実施しています。また、広尾にある「みなとふれあい館」のカルチャー講座で、歴史講座も受け持っています。区外の受講者も多く、好評です。

私の担当したツアーガイドで印象に残っているのは、日頃めったに立入る機会のない“最高裁判所”のご案内です。職員の方が建物の構造・法廷の特徴などを丁寧に説明してくれます。その後、古地図を元に憲政記念館や三宅坂・桜田門などを歴史散策して、最後にお食事です!毎回、店選びには苦心しますが高い評価を得ています。コロナ禍で中止になっていましたが、5月より再開することになりました。皆様もぜひ一度ご参加を!!



旧乃木邸 歴史ガイド

## 「楽しかったよ〜♪」が私のエネルギー

えっ、あなたって出不精なの!?—— 周りの人たちが驚くけれど、実は“巣ごもり”が大好きだ。ただし、『街歩き』だけは例外。ガイドのための外出や下見がまったく苦にならないのは、われながら不思議である。

『街歩き』の呼び物のひとつがランチ。味と雰囲気ですら評判のレストランに“おひとりさま”で入るのはいささか気おくれするが、参加者といっしょなら安心して味わうことができる。“食”のフリーライターをしていた私の腕の見せ所でもある。

また、シルバー世代の顧客のために特に気をつけているのが給水タイムと清潔なトイレ。以前、当然あるはずと信じて確認を怠った場所にトイレがなかった失態を演じたことは、今でも忘れられない。

天候に恵まれ、予定時間ぴったりに進行、最後に「楽しかった♡」のアンケートを読めば、疲れなんか吹っ飛んでしまう。心もからだも、そしてイヤホンガイドも充電して皆さんの参加をお待ちしています!!



川尻 由紀子  
[4988]



春のガイド  
南麻布「了聞」ロビーの千本桜



## 倶楽部のご紹介

ツアーがスタートしたのは2011年のこと。

ふれあいセンターの自主事業となりました。

ふれあい館カルチャー講座」に参加し、

“で”の活動を行っています。

メンバーは15名。5〜6年前からは

をのぼすなど、切磋琢磨し

を発揮しながら、

座を目指しています。

## 私のライフワーク

歴史好きの私は、2009年、麻布地区総合支所主催の「麻布達人倶楽部」に参加。街歩き班に所属して麻布の歴史、名所旧跡の勉強を始めました。その後参加した「港区観光ボランティア育成講座」で、港区全体の歴史、文化、観光スポットなどに勉強の範囲を広げ、2012年センターの「みなと歴史ガイド倶楽部」立ち上げに参加し、以来10年余、ツアーのガイドやみなとふれあい館でのカルチャー講座の講師を務めてまいりました。

麻布に住んで42年の私の得意分野は、時代で言えば江戸時代、エリアで言えば麻布、青山霊園、増上寺です。徳川将軍家と港区の関わりなど、知れば知るほど興味が湧きます。

5年前に脚を悪くして以来、ツアーのガイドは叶わなくなりましたが、みなとふれあい館でのカルチャー講座の講師として、港区の魅力を伝える仕事を今後も続けて行きたいと思っています。今年は「港区探訪」をテーマに講座を実施していますので、多くの方にご参加いただけるとうれしいですね。



のぶひと  
清澤 暢人  
[5128]



月例会（全員で集まる大切な勉強の場）



みついのりこ  
満井紀子 [6862]

# 台湾と私

## 一枚の木片が繋いだ祖父との縁

皆さんは「湾生（わんせい）」という言葉をご存知でしょうか。私は台湾で生まれ、1歳の時に家族と一緒に引き揚げてきた「湾生」。「湾生」とは、日本統治下の台湾に生まれ、戦後日本本土に引き揚げてきた日本人のことですが、私にとってはあまりにも幼い頃のこと、台湾の記憶はほとんどありませんでした。ところが6年前、湾生である自分を強く意識する出来事が起きたのです。

### 菅宮勝太郎の家

台湾南東部に成功鎮（せいこうちん）という町があります。日本統治時代には新港と呼ばれたこの町には、台湾東部では珍しい二階建ての日本式家屋が残っており、教会の一部として利用されていました。1932年築というこの家屋が台風で破損した時に、屋根裏から「菅宮勝太郎」と記された木片が見つかりました。



木片

菅宮勝太郎（すがみやかつたろう）は私の祖父にあたります。祖父は台東県の新港に支庁長として赴任し、漁港や市街地の公道などのインフラ整備を手掛けました。新港の街と人々に強い愛着を抱いていた祖父は、退官後も新港に住み続けました。木片が見つかった建物は祖父の終の住処だったのです。



破損した旧邸と、修復後の現在の姿

木片の発見をきっかけに地元の有志が建物の修繕・保存活動を開始。同時に「菅宮勝太郎」の業績を掘り起こし、子孫探しに乗り出しました。

### つなごうご縁

旧菅宮邸の修復をはじめとする地元での活動の中心になったのが陳韋辰（チェン・ウェイチェン）さん。陳さんは、当時酒井充子（あつこ）監督が取材・撮影中のドキュメンタリー映画「台湾萬歳」のプロデューサーを務めていました。勝太郎の孫の私たちにまで絆が繋がったのは、ひとえに彼の熱意の賜物です。2017年にこの映画が日本で公開された時には、長姉は小学校時代の同級生と72年ぶりの再会を果たすことができました。

地元の方々の尽力で建築当初の姿を取り戻した旧菅宮邸では、昨年3月に頼清徳（ライ・チンテ）副総統ら政府要人の臨席のもと修復完了式典が行われ、私たち菅宮家の末裔たちもビデオメッセージを送りました。現在は一般公開されており、建物の歴史に関する展示やイベント、展覧会など日台交流の拠点として利用されています。

祖父はインフラ整備に加え、教育振興にも大いに力を入れたとのこと。地元の方々の熱意は、祖父の人となりや業績が再評価された証でもあります。復旧なった祖父の旧邸は未来の日台関係に役立つことでしょう。

一枚の木片から始まった陳さんや酒井監督などのご縁を大切にしながら、私にできる活動をしていきたいと思っています。



当委員会は、就業マナーや接遇の研修、パソコンやスマホ活用講座などを通じて、会員の就業の質の向上に取り組んでいます。講師は研修委員や専門知識を持つ会員が務めており、外部の力に頼らずに研修を行えることが人材豊富な港区シルバー人材センターの特徴です。

### ①就業マナー・接遇研修

初めて就業した方に会員としての働き方のルールやマナーを再確認していただく「初回就業後研修」や、日ごろお客様に接する機会が多い職場を選んで「接遇研修」を行っています。

### ②デジタル活用研修

パソコン操作が必要な職場への就業を支援するための「日商パソコン検定研修」や「パソコン操作基礎研修」、選挙業務でパソコン操作を担当する方のための研修などを行っています。

また、「就業に役立つスマホ」などの講座や、カフェの日に行う「Smile to Smile (スマスマ) 登録サポート」を通じてスマホ活用のお手伝いをしています。

### ③入会希望者向け説明会

月2回の入会説明会に加え、各種イベントでシルバー人材センターの説明ブースを設けて、入会につなげる活動に注力しています。



落合委員、飯田委員、須田委員長、小森委員、宮下委員

近年は特にスマホやパソコンを就業や暮らしに役立てるためのデジタル活用研修に力を入れています。今年2月に行った「Excel体験講座」には定員8名のところに30名の応募があり、皆さんの関心の高さを感じました。引き続き会員のデジタルリテラシーの向上に貢献していきたいと考えています。

さて、就業の質を上げるための努力や工夫には限りがありません。研修委員会は今後も皆さんのお役に立てる研修の企画、実施に努力してまいります。とはいえ、実際に研修に参加できる会員の数は限られています。日ごろから会員お一人お一人が「もっと楽しく働き、もっとお客様に満足していただくには？」とご自分に問いかけてくだされば幸いです。そして、もし研修委員会でお手伝いできることがありましたら、遠慮なくお声がけください。

## 雑記帳

### 「生涯スポーツ検討中」



皆さんはフットサルをご存知ですか。サッカーと似ているのですが、サッカーが1チーム11人に対し、フットサルは5人。コートのはがさはバスケットボールほどで、室内で対戦するのが主な違いです。

最近2〜3度フットサルで汗を流しています。私がフットサルに一番魅力を感じているのは、ズバリ「サッカーより若干、疲れない！」ことです。「もう少しまとめた魅力を書け」と言われそうですが、この『若干疲れない』は私にとってフットサルを説明するうえで欠かせないキーワードです。

体を動かす機会が減り、運動を始めようと思っていました。最初は、学生時代にやっていたサッカーを考えたものの、あの頃でさえ運動量が多くて大変だったのに今後「生涯スポーツ」としてプレイすることは、日常生活に支障をきたす恐れがある、と思いつきました。

体力面だけではなく、サッカーは相手チームを含めると22人以上を集めなければなりません。その点、フットサルは半数で、各施設には「個人フットサル(知らない人同士がチームを組む)」のプランもあり、気軽にスタートできました。

そんなフットサルが私の「生涯スポーツ」になるかどうかは分かりませんが、今は楽しいので、順調な滑りだしができていて、と自分に思い込ませています(笑)。

なお、「生涯スポーツ」と表現するとカッコいいので乱用していますが、結局は、今まで見当たらなかった背中とお腹についている何かを落とせるくらいに動いていたい、というのが本音であることは言うまでもないかと。

(事務局 佐藤)

## 趣味 悠々



# 薔薇の木に薔薇の花咲く、 なにごとの不思議なけれど

片山 三保子 [3772]

家族の夕餉が終わると父は書斎で読書に耽る。ある夜、父の書斎から漏れる明かりとともに美しい音色が聞こえた。真鍮のドアノブをそっと回す。木製の扉から覗き込む私を父は手招きして膝に抱き上げ、「薔薇のタンゴという曲だよ」と教えてくれた。昭和20年代、幼いときの記憶の一片だ。

エゴン・シーレの作品と並べて飾った薔薇の宮廷画家ルドゥーテの版画は60年たった今も色褪せていない。フランス語の勉強のため、サンテグジュペリの代表作「星の王子様」のレコードを聞いていた。méchant,e(意地悪な)という形容詞しか覚えていないのは、ジェラルド・フィリップの朗読が心地良いBGMだったからか。



星の王子様が7番目に訪れた地球を去るとき、キツネは王子様に言う。「ものごとは心で見なきゃちゃんと見えないんだよ。大切なモノは目にみえないんだ」。大切なモノ、それ



は意地悪な薔薇の言葉の背後には優しさが隠れていてとか、友情とか愛情とか心の絆とか思いやりとか…。

薔薇の詩人リルケは丹精して育てた薔薇の棘が指に刺さり、それが原因で白血病を発症して51歳の若さで世を去ったと言われている。

若い頃は短命な作家や画家、音楽家、俳優に魅かれ、自分もまた短命と勝手に決め込んでいたのだが、100歳という年齢もそれほど遠いことではなくなった。

イングリッシュローズの手入れは体力がいる。玄関前の坪庭で育てていたが「薔薇終い」に取り掛かった。途中で放りっぱなしにしていたのに今年も新芽が

日ごとに成長している。若い命の何という美しさ!両手に抱えきれないほどの切り花は、嘔せるほどの香りを放つ。薔薇の木に薔薇の花咲く、なんの不思議もないけれど。当たり前の日常が優しく感じられる。ところで、私は大切なモノをちゃんと見てきただろうか?自信はない。だが、年齢を重ねるうちにうすぼんやりと見えてきたような気もする。

### 編集後記

▼コロナ禍もようやく出口が見えてきました。この間ゴルフ中心でしたので、これからは同窓会も飲み会も旅行も一気にまとめて実行したいところです。▼10数年を要した再開の高層マンションにようやく住み始めました。区内ではこれからも多くの再開が実施されます。それらが本当に街の価値を上げ、高齢地権者などの生活再建になることが重要です。▼編集員として企画・取材をしているなかで、当センターには多彩で有能な人材が豊富であることに驚きました。センター内の交流をさらに活発にすることが大切だと感じています。▼当センターは人材面や事業面でも高い評価を得ています。港区の良さをアピールするために、そして自らの生活を豊かにするために、就業やボランティアなどで大いに活動しましょう。  
(村林)

### 定時総会日程のお知らせ

日時: 令和5年6月26日(月)  
13時30分  
場所: 赤坂区民ホール  
※詳細は事務局だより5月号で  
ご確認ください。